

[教職員集計結果から]

教職員の回答で、AやBの肯定的な意見が昨年より増えているものは、

No4「生徒の読書量は、昨年と比べて増えていると思う」が、16%増えています。学校で本を読む姿を確認できている教員が増えたのかと思います。次年度以降も本を読む習慣が定着できるよう取組を改善していきます。

No8「教師(私)は、生徒の生活や学習の態度について、注意や指導ができています」が、8%増えています。指導している場面があったためだと考えられます。

No9「教師(私)は、生徒の悩みなどの相談に適切に応じている」が、6%増えています。相談にのることが多かったためと考えられますが、さらなる生徒の気持ちに寄り添う指導体制を維持していきたいと考えます。

No10「教師(私)は、いじめなどのない楽しい学級づくりや仲間づくりに努めている」が、6%増えています。わからないと回答した教職員が6%と減ったためと考えられます。

No11「教師(私)は、わかりやすい授業に努めている」が、6%増えています。わからないと回答した教職員が6%と減ったためと考えられます。

No12「教師(私)は、責任を持って校務分掌に取り組んでいる」が、3%増えています。全教職員が「よくあてはまる」と自信をもって回答できるよう、気付いたことを言い合える職場環境にしていきたいと思います。

No18「学校は、地震・津波・不審者など、危機に対応する指導ができていますと思う」が、11%増えています。しかし、生徒や保護者の結果が高くないため、学級等で指導はしているが、生徒自身が自分事と捉えられていない可能性があります。指導方法を見直して家庭での話題にできるようなものにしたいと思います。

教職員の回答でAやBの肯定的な意見が減っているものは、

No1「生徒は、学校生活を楽しんでいると思う」は、6%減り、わからないが6%増えています。生徒の内面まで考慮した結果かと思えます。「よくあてはまる」は過去のものと比較して高いものになっています。

No2「生徒は、目標をもって学校生活を送っていると思う」は、5%減っています。生徒の目標がもてるよう掲示や呼びかけを行っていきます。

No3「生徒の学力は、少しずつではあるが向上していると思う」が、10%減っています。「わからない」と答えている人数が13%増えていることから比較することが難しかったり、学力の認識に違いがあったりすることが考えられます。アンケート内容の見直しも含めて生徒に対する手立ても考慮していきたい。

No5「生徒は、家庭でほぼ毎日勉強していると思う。」について17%減っています。家庭学習の習慣が身につけていないと感じる教員が多くなっています。学習機会が充実していけるよう、どのような内容を家庭学習にするかを生徒へ助言を行っていきます。

No6「生徒は、あいさつがよくできていると思う。」が、7%減っています。生徒会の朝のあいさつをはじめ、教職員全体で取り組みを推進していきます。

No7「生徒は、清掃する・時間を守る・忘れ物をしない等の基本的な生活のきまりがきちんと身につけていると思う。」が、7%減っています。清掃に関しては取組を充実させ、家庭との連携を取りながら基本的な生活のきまりが身につくよう取り組みを推進していきます。

No17「学校は、風通しの良い職場作りに努めていると思う」が、18%減っています。職員間で必要となる情報について、報連相が行いやすい環境を充実していきたいと考えます。